

機械器具 (56) 採血又は輸血用器具
一般医療機器 ルアーアダプタ 35075000

トップコネクター

再使用禁止

【禁忌・禁止】
・再使用禁止

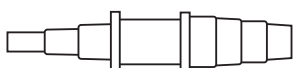
【形状・構造及び原理等】

<構造図(代表図)>

・CCコネクター



・CMコネクター



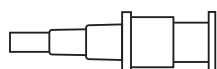
・CFコネクター



・MMコネクター



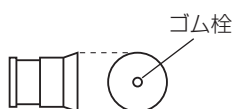
・MFコネクター



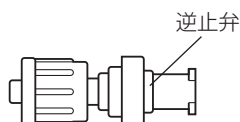
・FFコネクター



・MNコネクター



・MSコネクター



●CCコネクター

1. コネクターの両端が段つきアダプターになっているために、カテーテルアダプターもしくは、カテーテル(30~36Fr)の接続に使用する。
2. 流路の方向性はないので、どちらからも流路を確保することが出来る。

●CMコネクター

1. オステーパー側には、メステーパーを有するチューブ類の接続もしくは、カテーテル(18~28Fr)の接続に使用する。
2. 段つきアダプター側には、カテーテルアダプターもしくは、カテーテル(30~36Fr)の接続に使用する。
3. 流路の方向性はないので、どちらからも流路を確保することが出来る。

●CFコネクター

1. メスロックテーパー側には、オステーパーを有するチューブ類を接続する。
2. 段つきアダプター側には、カテーテルアダプターもしくは、カテーテル(28~36Fr)の接続に使用する。
3. 流路の方向性はないので、どちらからも流路を確保することが出来る。

●MMコネクター

1. コネクターの両端がオステーパーになっているために、メステーパーを有するチューブ類の接続もしくは、カテーテル(18~28Fr)の接続に使用する。
2. 流路の方向性はないので、どちらからも流路を確保することが出来る。

●MFコネクター

1. メスロックテーパー側には、オステーパーを有するチューブ類を接続する。
2. オステーパー側には、メステーパーを有するチューブ類の接続もしくは、カテーテル(18~28Fr)の接続に使用する。
3. 流路の方向性はないので、どちらからも流路を確保することが出来る。

●FFコネクター

1. コネクターの両端がメスロックテーパーになっているために、オステーパーを有するチューブ類の接続に使用する。
2. 流路の方向性はないので、どちらからも流路を確保することが出来る。

●MNコネクター

1. オスロックテーパー側には、メステーパーを有するチューブ類を接続して、混注用キャップとして使用する。

●MSコネクター

1. メスロックテーパー側には、オステーパーを有するチューブ類を接続する。
2. オスロックテーパー側には、メステーパーを有するチューブ類を接続する。
3. メスロックテーパー側から、オスロックテーパー側へは、流路を確保できるが、反対側からは流路が確保出来ないよう逆止弁構造になっている。

(材質)

CCコネクター	ABS
CMコネクター	ABS
CFコネクター	ABS
MMコネクター	ポリプロピレン
MFコネクター	ABS
FFコネクター	ポリプロピレン
MNコネクター	ABS
ゴム栓	SEBS
MSコネクター	ポリカーボネイト
逆止弁	シリコンゴム

【使用目的又は効果】

- ・本品は、オス、メステーパーを有する端子やチューブを接続するためのコネクターです。

【使用方法等】

1. 包装を開封口より開封し、汚染に十分注意しながらコネクター類に接続する。
2. 薬液との接合部分には手を触れないように注意し、十分嵌合したことを確認の上、使用する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- ・本品に過度の引張りや、接続部に対する過度の応力を加えないこと。また、患者の体動による輸液ラインの押し潰し等には十分注意すること。[接続部の破損、緩みや外れ等が生じるおそれがある。]
- ・MSコネクターの接続に際して、流路が確保されたことを必ず確認すること。[自然落下式等の低圧下での輸液の場合、まれに逆止弁が密着していて薬液が流れないおそれがある。そのような場合はシリンジ等を用いて若干の加圧をすることにより逆止弁は開通する。]

- ※・MSコネクターの逆止弁性能は、2kPaなので、それ以上の圧力が加わる使用はしないこと。[漏れが生じるおそれがある。]
- ・MSコネクターは逆止弁性能を有しているが、メステーパー側を開放状態で使用しないこと。[メステーパー側が開放状態になることにより、液漏れや空気混入、汚染のおそれがある。]

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・使用前、各接続部がしっかり接続されていることを確認すること。また、使用中は本品の破損、接続部の緩み及び液漏れ等について、定期的に確認すること。
- ・本品の接続に際して、過度の締め付け及び増し締め等には十分注意すること。[接続部が破損するおそれがある。]
- ・接続部に薬剤等が付着した状態での締め付け及び増し締め等には十分注意すること。[接続部が通常より深く入り込み、外れなくなる又は、破損するおそれがある。]
- ・接続部に薬液が付着すると、接続部にゆるみ等が生じる場合があるので注意すること。

※※ ＜相互作用(他の医薬品・医療機器等との併用に関すること)＞

1) 医薬品との併用注意

- ・脂肪乳剤又は脂肪乳剤を含む医薬品、ヒマシ油等の油性成分、界面活性剤又はアルコール等の溶解補助剤などを含む医薬品を投与する場合及びアルコールを含む消毒剤を使用する場合は、本品のひび割れについて注意すること。[薬液により本品にひび割れが生じ、血液及び薬液漏れ、空気混入等のおそれがある。特に、全身麻酔、昇圧剤、抗悪性腫瘍剤及び免疫抑制剤等の投与では、必要な投与量が確保されず患者への重篤な影響が生じるおそれがある。なお、ライン交換時の締め直し等は、ひび割れの発生を助長する要因となる。]
- ・ひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。

＜不具合・有害事象＞

※※ 1) その他の不具合

汚染、包装の損傷、接続不良、空気混入、漏れ、外れ、緩み、亀裂、詰まり

2) その他の有害事象

感染

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

- ・水ぬれに注意して保管すること。高温又は湿度の高い場所や、直射日光の当たる場所には保管しないこと。

＜有効期間＞

- ・内箱の使用期限欄を参照のこと。[自己認証(自社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社トップ（添付文書の請求先）
TEL 03-3882-3101